

仙台第一高等学校

校訓 自重 献身



1 基本データ

創立：明治25年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：948名
所在地：〒984-8561
仙台市若林区元茶畑4番地
TEL：022-257-4501
FAX：022-257-4503

ホームページアドレス：
<https://sendai1.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
sendai1@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
◆仙台市営地下鉄東西線：連坊駅下車 徒歩 1分
南北線：五橋駅下車 徒歩 15分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

次代を担うリーダーを育成

質の高い授業、伝統と資産を生かした進路支援、発起人制度による特色ある学校行事などを通して、将来社会においてリーダーシップを発揮し、活躍・貢献できる、心身ともに健康で器の大きな人を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、明治25年4月1日、宮城県尋常中学校として創立されました。初代校長は、国語辞書『大言海』の編集で知られる大槻文彦先生です。校舎は、最初は清水小路、次いで南六軒丁、そして明治41年に元茶畑に移り、現在に至っています。校名は、宮城県第一中学校、宮城県仙台第一中学校を経て、昭和23年4月に宮城県仙台第一高等学校となりました。平成4年12月には校舎の全面改築が終わり、翌年2月に、創立100周年・校舎落成記念式典が行われました。また、平成6年4月に第二運動場、平成10年3月にプール、平成11年8月に体育館、平成15年4月にテニスコートが竣工しました。平成22年4月に男女共学となり、令和7年度は在籍948名中、524名が男子です。令和4年10月には創立130周年記念式典が行われ、全日制課程の卒業生は3万3千名以上に及んでいます。平成24年度には、文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定校となり、現在は継続Ⅲ期目となっています。

(2) 教育方針

校訓『自重以テ己ヲ律シ 献身以テ公ニ奉ズ』(明治39年6月6日制定)に基づき、教育目標として「教育基本法並びに学校教育法に則り、人格の完成を目指し、社会に対する健全な批判力を養い、自主自立の精神に充ちた心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者を育成する」ことを掲げ、学校としてその実現に向け日々努力を続けています。具体的には、1学年での幅広い教科学習の上に立って、2学年・3学年では、大幅な教科・科目選択制の下で、生徒各自の進路希望に応じた学習に取り組むこと、生徒全員が必ず部活動に所属して活動し、学習との両立を目指すこと、発起人制度を取り入れた生徒の活動

および学校行事において、生徒が自主的・意欲的に活動することなどです。

(3) 教育課程の特色

将来、生徒が社会で活躍していくために必要な幅広い視野と教養を身に付けることができるようにするとともに、ほとんどの生徒の希望である大学進学にも十分に対応できる教育課程を編成しています。

1学年では、幅広い教科を共通に学習することを基本とし、2学年からは、生徒各自の進路希望に応じて文科系と理科系とに分かれ、3学年では、さらに具体的な進路希望に応じた教科・科目を学習できるように、大幅な教科・科目選択制を取り入れています。

また、平成22年度より授業1コマを55分とし、その特徴を生かした授業を行っています。生徒の進路希望の実現のために、授業時数を確保するとともに、例えば、国語や英語では長い文章をじっくりと読んだり、数学では問題演習を多く取り入れたりするなど、プラス5分を活用した質の高い授業を展開しています。また、SSH指定校として複数の学校設定科目を設け、「学術研究」など特色ある授業を行っています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校では、次のような特色ある学校行事を実施し、生徒が自己を見つめ、互いに磨きあう機会の一つにしています。4月下旬の運動祭では、各学年縦割りの8チームを編成し、ユニークな競技と応援とを競い合います。5月中旬の仙台一高・二高硬式野球定期戦は、社の都仙台の春の風物詩として知られ、応援合戦にも力が入ります。10月中旬には、学校から秋保温泉までの約35キロを6～7時間かけて歩走する強歩大会があります。美しい自然に囲まれながら浩然の気を養い、心身の強さや完歩した爽快さを実感できます。この他にも一高祭、校内競技大会、芸術鑑賞会、東北大学学部学科説明会など多彩な行事があり、充実した学校生活を送ることができます。

生徒の活動は、生徒総会を中心に、評議委員会、総務委員会、会計委員会、文化委員会、特別委員会などの組織を通じて、自主的・民主的に運営されています。また、大きな特色として、発起人制度があり、運動祭や一高祭などの行事、生徒会誌『創造』の編集では、企画・運営を希望する生徒が発起人となり、生徒総会の承認を得て公的な立場を与えられ、

積極的に活動しています。

部活動は全員加入制となっており、生徒は運動部(23)、学芸部(21)のいずれかに所属し、学習と部活動の両立、「文武両道」を合言葉に熱心に日々の活動に取り組んでいます。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
国公立大学	161	154	169
私立大学	63	52	56
専各学校	0	3	2
就職	0	0	0
その他	88	106	86
卒業生計	312	315	313

主な進路先(令和7年3月卒業生)
()内は人数 (1)は省略

<国公立大学>

北海道大(5)、弘前大(2)、岩手大(3)、東北大(47)、宮城教育大(14)、秋田大、山形大(25)、福島大、茨城大(2)、筑波大(6)、宇都宮大(2)、埼玉大(3)、千葉大(7)、電気通信大(2)、東京外大(2)、東京学芸大(5)、東京科学大、東京農工大(6)、一橋大、横浜国立大(3)、新潟大(3)、信州大(2)、京都大、大阪大(3)、岡山大、宮城大(4)、福島県立医大(4)、東京都立大(3)、静岡県立大、愛知県立芸大

<私立大学>

仙台大、東北学院大(2)、東北医薬大(5)、獨協大、千葉工大、慶応大(4)、実践女子大、芝浦工大、順天堂大、上智大、成蹊大、専修大、中央大(6)、東京農大、東京理大、日本大、法政大(7)、東京都市大(2)、武蔵野野大、明治大(10)、明治学院大、立教大、早稲田大(8)、神奈川大、立命館大(3)

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍 (R6 部活動 東北大会/全国大会)

《運動部》

- ・弓道 (男子個人) 全国大会出場
- ・剣道 (男子団体) 東北大会出場
(男子個人) 国民スポーツ大会出場
- ・硬式野球 東北大会出場
- ・山岳 東北大会出場
- ・水泳 (男子 4×100m 自由形 R・4×200m 自由形 R・4×100mMR・100m 自由形・200m 自由形・100m 背泳ぎ・200m 背泳ぎ・100m 平泳ぎ・200m 平泳ぎ) 東北大会出場
(男子 50m 自由形) 全国大会出場
(女子 100m 背泳ぎ) 東北大会出場
- ・フェンシング (女子個人サーブル) 東北大会出場
(女子サーブル団体・女子エペ団体)
北海道・東北大会出場
- ・陸上競技 (女子 4×100mR・女子 4×400mR) 東北大会出場
(男子 800m・男子 110mH・男子 400m) 東北大会出場
(女子 100m・200m・400m・100mH・砲丸投げ・走り幅跳び・円盤投げ) 東北大会出場
- ・ヨット (女子 420 級) 東北大会出場
(男子 ILCA6 級) 東北大会出場
(女子 ILCA6 級) 全国大会出場
(男子 420 級) 全国大会出場
- ・少林寺拳法 (男子組演武) 東北大会出場
(男子自由単独演武) 全国大会出場
(女子規定単独演武) 全国大会出場

《学芸部》

- ・将棋 東北高等学校将棋新人大会出場
全国総文大会将棋部門団体戦出場
全国高等学校文化連盟将棋新人大会出場
- ・囲碁 全国高等学校囲碁選手権大会出場
- ・吹奏楽 全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会出場
- ・物理 全国高等学校総合文化祭(かがわ総文 2025) 出場権獲得
- ・クイズ研究 All Japan Quiz League 2024 ジュニアの部東北リーグ 出場
- ・鉄道研究 全国高等学校鉄道模型コンテスト入賞
- ・書道 全日本高等学校書道コンクール・全日本書初め大観覧会入賞

(2) スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) とは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術系人材を育成するための取組として、文部科学省が全国 200 校程度の学校を指定して行っている事業のことで、本校は、平成 24 年度からの第 I 期、第 II 期の 10 年に引き続き、令和 4 年度から第 III 期 5 年間の指定を受けました。全生徒を対象に、校訓「自重献身」標語「自発能動」を国際社会で具現化しうる人材を輩出することを目指し、学校設定教科「学術研究」における課題研究を中心とする、さまざまな取組を行っています。



SSH 学術研究発表会(川内萩ホール)

(3) 主な学校行事

《運動祭》

4 月下旬の爽やかな気候のもと開催されます。8 つの縦割りクラスによって各競技が行われ、年度はじめのクラスや学校全体の団結力を育む大切な行事になっています。令和 6 年度は「騎馬戦」「綱盗り」「茶畑歌留多」「棒倒し」「大量リレー」の競技が行われました。パフォーマンスや仮装などもあり、大いに盛り上がりです。



《仙台一高・二高硬式野球定期戦》

令和 7 年度で戦後第 80 回目を迎える伝統ある行事です。開催数日前に両校の大勢の生徒が街中をアピール行進し、雰囲気盛り上げます。定期戦は 5 月中旬に楽天モバイルパーク宮城で開催され、両校の伝統ある全校応援合戦も見ものになっています。令和 6 年度も一高が優勝し、4 連覇を成し遂げました。



第 79 回定期戦 (R6. 5. 11)

《一高祭》

夏季休業直後に開催されます。学芸部や有志によるステージ発表、展示発表のほか、水泳部による「ウォーターボーイズ&ガールズ」の公演も行われます。出店、装飾、校内生限定の夜祭、校庭でのストームも一高ならではのイベントです。



《強歩大会》

秋の景色を満喫できる 10 月中旬に開催されます。全校生徒が早朝に学校を出発し、約 35km の道のりを各自のペースでゴールの秋保温泉をめざします。ゴール後の爽快感と豚汁や入浴は格別です。



強歩大会ゴール地点

(4) 交通アクセス

校門のすぐそばに仙台市地下鉄東西線「連坊駅」があります。遠隔地からの通学も大変スムーズです。令和 6 年度の調査では、約 54% の生徒が連坊駅を利用していています。



4 在校生からのメッセージ

3年 高野珀人さん (仙台市立八乙女中出身) からのメッセージ
私は陸上競技の 400m で東北大会入賞し、部活動に精を出しながらも、日々の学習で仲間と競い合っ、成績向上に努めている。仙台一高は生徒に 1 人の「大人」としての自由を与えて、それをどう捉え、活用するかが一高ライフを満喫する鍵となる。ぜひ、この環境に身を投じ、人間としてのレベルを高めてほしい。

3年 白鳥有那さん (岩沼市立岩沼西中出身) からのメッセージ
私は文芸部では県大会、映画部では団体として全国大会で賞をいただいた他、伝統ある一高の生徒会誌「創造」の編集委員長も務めた。一高には、自分の気持ち次第で何でもできる環境がある。共に歩むことのできる仲間がいる。一生の思い出になる 3 年間がある。あなたも一高で新たな扉を開き、世界を広げてみてはどうだろうか。